

# 障害者フライングディスク競技規則(抜粋) 令和3年4月改定

アキュラシー競技 競技区分 無  
 競技種目 ディスリート・ファイブ  
 ディスリート・セブン

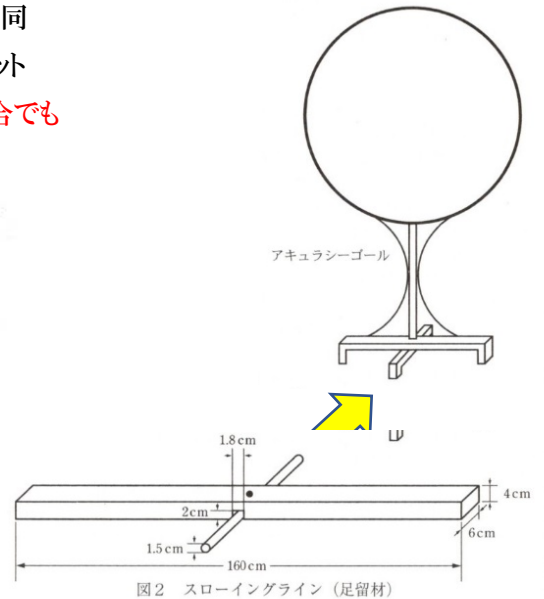
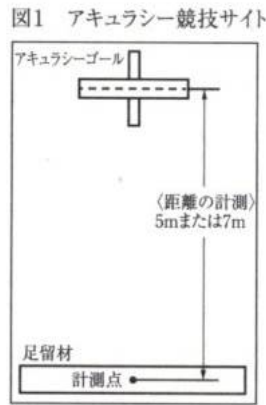
アキュラシー競技では、ディスリート・ファイブ、ディスリート・セブンのうち1種目を選択し年齢順に行う。(男女別にしていない)。ディスクを5mまたは7m離れたアキュラシーゴール(標的)(図1)(直径 91.5cm の円形)に向けて、10 投連続して行い、その通過回数を競い合う。

視覚障がい者の場合は、副審がアキュラシーゴール後方3mの距離から電子音でアキュラシーゴール中心部の位置を知らせることができる。聴覚障がい者の場合は、手話通訳や要約筆記を通して競技を行う。

- 1 使用されるディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認「ファーストバックモデル」直径 23.5cm、重量 100g±5g である。
- 2 プレーヤーは、試技を 10 投連続して行う。(投げ方は自由とする)。
- 3 得点は、ディスクが地面を触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。
- 4 同得点の場合は、第1得点を先に得点した選手を上位とする。第1得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げた選手を上位とする。得点及び通過も同じで1位、2位、3位が決定しない場合の上位3名の決定にあつては、1セット(3投)の再投(追加試技)を行い、得点の多さで順位を決定する。ただし、4位以下の選手で同得点の場合は、再投を行わず、同順位とする。再投は、順位が決定するまで、最大5セットまで行う。

**えひめパラスポ記録会での特別ルール**⇒同得点の場合は、第1得点を先に得点した選手を上位とする。第1得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げた選手を上位とする。得点及び通過も同じで1位、2位、3位が決定しない場合の上位3名の決定にあつては、1セット(3投)の再投(追加試技)を行い、得点の多さで順位を決定する。**この場合でも決定しない場合は抽選を行い、順位を決定する。**

- 5 試技中に身体の一部や補装具(椅子等を含む)が、スローイングライン(足留材)(図2)の上部または外側の地面に触れたときは、反則とする。反則となったスローイングは、フットファールとなり1投の試技とみなすが、得点は無効とする。(記録表にはFと記入する)。



- 6 試技の時間は5分とし、5分をこえた試技は無効とする。ただし、聴覚障がい者の計時では、手話通訳等を通して内容を確認するときは一時停止する。

第3グループ			4組	2サイト											10:15	10:28		
No.	区分	利眼	ふりがな氏名	地区・所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	得点	順位	再投	最終結果
1	1120	肢	A	愛知県	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	7		
2	950	聴左	B	長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	1	2	○
3	1610	視	C	福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	5		
4	880	車	D	東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	6		
5	801	椅子左	E	浜松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	3	5	○
6	1260	肢	F	秋田県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	8		
7	740	聴左	G	北海道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	2	2	○
8	1550	視	H	福岡市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	3	5	○

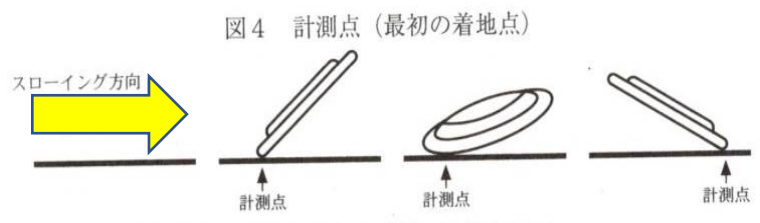
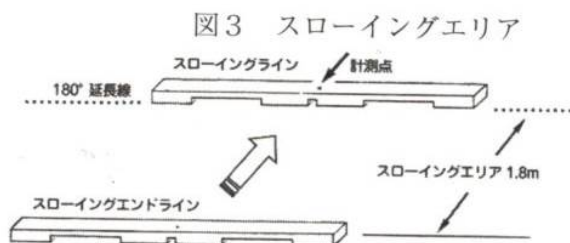
# 障害者フライングディスク競技規則(抜粋) 令和3年4月改定

- ディスタンス競技 競技区分
- ① 座位女子(レディース・シティング)
  - ② 座位男子(メンズ・シティング)
  - ③ 立位女子(レディース・スタンディング)
  - ④ 立位男子(メンズ・スタンディング)

ディスタンス競技では、ディスクを3回投げ、最も遠くに飛んだ地点までの距離を競う。男女別で座って投げるか、また男女別で立って投げるかの計4つの区分に分けて年齢順に競技を行う。

4つの区分とは、①座位女子(レディース・シティング)、②座位男子(メンズ・シティング)③立位女子(レディース・スタンディング)、④立位男子(メンズ・スタンディング)である。

- 1 使用されるディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認「ファーストバックモデル」直径 23.5cm、重量 100g±5g である。
- 2 プレーヤーは試技の前に1投の練習を行う。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。
- 3 プレーヤーは試技を3投連続で行う。(投げ方は自由とする)。
- 4 投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方 180° とする。
- 5 距離の計測は、スローイングラインの中央の計測点から、ディスクが最初に地面に触れた点(図4)までとする。記録は、3投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。
- 6 計測は cm 単位とし、メートルで記録する。1cm 未満は切り捨てる。
- 7 同順位の場合、1位、2位、3位は1投の再投(追加試技)により決定する。再投は、順位が決定するまで行う。4位以下の選手が同記録の場合は、再投は行わず同順位とする。再投の記録は公式記録としない。
- 8 試技中に身体の一部や補装具(椅子等を含む)が、スローイングライン(足留材)の上部または外側の地面に触れたときは、反則とする。また、スローイングエリア外から助走したときも反則とする(図3)。  
ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間にでることは反則としない。反則となった試技は、1投の試技とみなすが、計測はしない。
- 9 試技の時間はプレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分をこえた試技は無効とする。



No.	区分	利腕	ふりがな氏名	地区・所属	第1投	第2投	第3投	記録	順位
1	1120	肢	A	愛知県	32.05	.	.	32.05	4
2	950	聴左	B	長野県	.	41.11	.	41.11	2
3	1610	視	C	福井県	.	22.96	23.41	23.41	5
4	880	車	D	東京都	48.21	.	.	48.21	1
5	801	椅子左	E	浜松市	.	.	19.77	19.77	6
6	1260	肢	F	秋田県	.	8.65	.	8.65	8
7	740	聴左	G	北海道	15.23 <del>15.19</del>	.	.	15.23	7
8	1550	視	H	福岡市	38.19	38.64	36.82	38.64	3